

緑のセンターたより

NO.106 平成 20年 1月 1日 発行

発行元: (財)札幌市公園緑化協会 豊平公園緑のセンター

タケの名前は、「長(た)ける」「猛(たけ)し」「高し」など、生長が早く、高く猛々しくなるところからきたものと言われます。ササは「細小竹(ほそこだけ)」の意で、タケの細く小さなものを呼ぶ名前です。

<分布>

熱帯地方の特に雨の多い地帯に豊富で、世界に約 40 属 600 種が知られ、モンスーン地帯である東南アジアや、インド、中国南部、南アメリカに種類が多くあります。北限は、アメリカ大陸では北アメリカ東部のメリーランド南部で、北緯 40 度にとどまりますが、東アジアでは北緯 50 度以北のサハリンに達し、種類もずっと多くあります。日本における栽培の北限は北海道函館市です。チシマザサ(ネマガリダケ) (*Sasa kurilensis*) は北海道、本州に分布します。ハチク (*Phyllostachys nigra* var. *henonis*) の北限は札幌市です。

<分類>

日本には約 400 種が知られていますが、園芸的によく用いられるのは約 60 種で、タケ類、ササ類、バンブー類に分けられています。

1、タケ=長い地下茎を伸ばし、その節から大形の桿がまばらに出るもので、桿は均等に広がって竹やぶを作ります。

カンチク属 (*Chimonobambusa*)、シホウチク属 (*Tetragonocalamus*)、ナリヒラダケ属 (*Semiarundinaria*)、トウチク属 (*Sinobambusa*)、マダケ属 (*Phyllostachys*)、オカメザサ属 (*Shibataea*)

2、ササ=長い地下茎をひいて繁殖する点はタケと同じですが、一般に丈が低く、桿も細く、皮が宿存するものです。

メダケ属カンザンチク (*Pleioblastus*)、ヤダケ属 (*Pseudosasa*)、アズマザサ属 (*Sasaella*)、ササ属 (*Sasa*)

3、バンブー=地下茎が長く伸びず、大形の桿が密生して株立ちとなるもので、日本には野生せず、本州中部以南に栽培されるに過ぎません。

ホウライチク属 (*Bambusa*)、メロカンナ属 (*Melocanna*)、マチク属 (*Dendrocalamus*)

<開花>タケ類はめったに開花しませんが、開花の時には竹やぶや、笹原が一斉に開花し、数年にわたって全栄養を使い果たし、ほとんど全部が枯死します。日本のマダケやハチク、ササも 60 年または 120 年周期説が有力です。

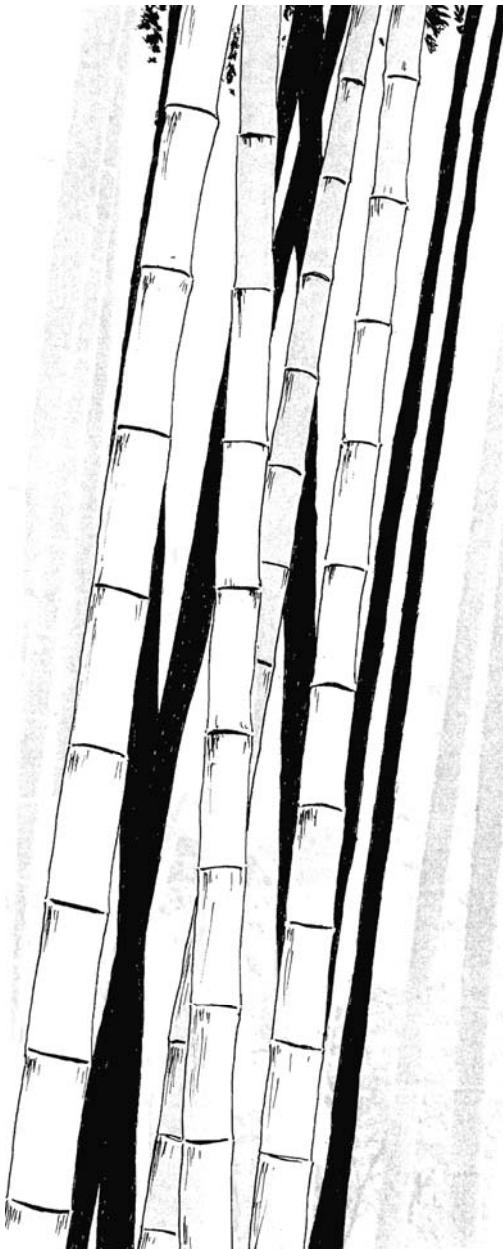
<利用>一つの植物と人間との関り合いで、タケと日本人ほど深いものは例がないでしょう。建築材、調理具、楽器、農具、茶道具など多方面に利用されており、それぞれに長い歴史を持っています。桿は硬くて折れにくく、しかも、縦には容易に割くことができ加工しやすい性質を生かして、独特な利用法が考案されてきました。

タケは常に青々として衰えを見せず、真っ直ぐに伸びて強靭で折れにくく、節が規則正しく並び、良く繁茂するので瑞祥(ずいしょく)植物とされ、神の依代(よりしろ)となって邪惡を払うものと考え、行事には欠かせないものとされてきました。正月の門松にタケを立て、地鎮祭では四方に斎竹(いみたけ)を立てて注連縄(しめなわ)を張り、七夕の夜には葉付きの青竹を庭先に立てて牽牛、織女の2星を招き寄せて幸運を願うなど、今日でも活かされています。

日本で食用タケノコとして最も多く利用されているのはモウソウチク (*Phyllostachys heterocycla*) です。モウソウチクの渡来(1736 年、中国江南地方より、琉球を経て鹿児島市磯公園に移植されたのが最初)まではハチク、マダケ (*P. bambusoides*) のタケノコが利用されていました。モウソウチクのタケノコは春一番に出、大型、肉厚でやわらかく、香りがあり、えぐ味が少なく好まれました。ハチクは今日でもモウソウチクの後に発芽し、独特の風味があるのでよく出回ります。カンザンチク (*Pleioblastus hindsii*)、シホウチク (*Tetragonocalamus quadrangularis*)、カンチク (*Chimonobambusa marmorea*) は 6 月～10 月頃に発芽し、小型ですが味が良いことから食用とされてきました。南九州で家屋の周囲に防風用として植栽されているカンザンチクは、最もうまいタケノコとして食されています。チシマザサのタケノコも古くから食用とされており、塩漬けとして年中出回ります。スズタケ (*Sasa borealis*) も北海道では古くから食用とされてきました。

タケノコの栄養分を野菜類と比較すると、タンパク質は(豆類を除けば)より多く、糖質も多く含まれます。ビタミン A はほとんど含まれませんが、B1、B2 は同じ程度含み、C も緑黄色野菜を除いてほぼ同等の量を含みます。ミネラルでは鉄分が少なく、リンは平均的な含量です。これら栄養分は先端部に多くあります。えぐ味成分はホモゲンチシン酸で、チロシンやフェニルアラニンの酸化したものです。タケノコをよく産する地下茎は 3～5 年生で、これらに近い連なりに、良い親竹を立てることが大切です。(T.T.)

竹



1月の園芸

このコーナーの園芸作業は札幌地方での目安です。ここに掲載した以外の作業もたくさんありますので、ご不明な点は緑の相談までお気軽にお問い合わせください。

緑の相談受付 10:00~12:00、13:00~16:00

☆豊平公園 811-9370 月曜以外毎日

百合が原と平岡樹芸センターの相談窓口は冬期間はお休みです

あけましておめでとうございます

新春特集 子にちなんだ名の植物

子は十二支の始まり。子は滋(孳=ふえるの意)で、新しい生命が種子の中に萌し始める状態を表しており、十干の丙(炳=あきらかの意)とともに万物が生長して繁るという、活気ある年を期待したいものです。子歳のネズミの名にちなんだ植物は、尾の形が似ているなどが比較的多く、そのうちの主なものを取り上げてみましょう。

【ネズミサシ】ネズ、トショウ *Juniperus rigida*

ヒノキ科ビャクシン属。岩手以南の丘陵地に生える針葉樹で、庭園、生垣、盆栽などに広く利用されています。北海道ではセイヨウビャクシン(*J. communis*)、ミヤマビャクシン(*J. chinensis* var. *sargentii*)が植えられます。雌雄異株で果は径7mmで球形、翌年の秋に紫黒色に熟します。ネズミサシの名は、葉が硬直でネズミの通り道に置くと刺さるからネズミの害を防ぐことができるという願いをこめてつけられたと言います。



【ネズミモチ】ネズミノフン、ネズミノコマクラ *Ligustrum japonicum*

モクセイ科イボタノキ属。果実がネズミの糞に似ているところからこの名があります。関東以西の暖地に自生します。果実は長楕円形で紫黒色です。北海道で垣根に植えられるイボタノキの果実は球形で葉はやや小型です。

【ネズミガヤ】 *Muhlenbergia japonica*

イネ科ネズミガヤ属。ネズミガヤの名は花穂がネズミの尾に似ているところから付けられました。日本各地の原野、路傍に生える多年草です。茎は20~35cmで硬くて地下茎を持ち、秋に7cmの円錐状の花穂をつけます。



【ネズミノオ】 *Sporobolus fertilis*

イネ科ネズミノオ属。四国、九州などの暖地に分布する多年草です。1株に高さ50~70cmの細長い茎を束生し、夏~秋に茎頂に花穂をつけ、この細長い穂の形がネズミの尾に似ているところからこの名があります。



【ナギナタガヤ】ネズミノシッポ、シッポガヤ *Vulpia myuros*

イネ科ナギナタガヤ属。ヨーロッパ南部原産、明治初年渡来。海辺、河原などに繁茂する一年草。葉は両縁が内側に巻き剛毛状、これが尻尾に見えることからこの名がつけられました。道内に自生します。



【ネズミムギ】 *Lolium multiflorum*

イネ科ドクムギ属。イタリアンライグラスと呼ばれ、牧草として栽培されるヨーロッパ原産の一年草です。生育は早く草質は軟らかくて収量も多いため、短年生牧草の雄とされます。穂の形がネズミの尾に見えるところからこの名がついています。



【ミミナグサ】 mouse-ear *Cerastium holosteoides* var. *hallasianense*

ナデシコ科ミミナグサ属。日本各地の道端や畑などに生える二年草です。葉がネズミの耳に似ているために英名をマウスイア(ネズミの耳)といいます。



◆鉢花の室内管理

寒さが苦手な植物などは、冬の間は室内に入れられていることでしょう。北海道の住宅は高性能で、首都圏などの住宅よりも暖かい場合もありますので、熱帯生まれの植物なども育てやすいと言われています。でも、植物は「暖かければ大丈夫」と言うわけではありません。ちょっとしたコツをマスターして、冬の室内園芸をもっと楽しみましょう。

【光】

光を好む鉢花は窓辺に置いて、強い光線を避けたい種類はレースのカーテン越しか室内中央部など反射光の当たる明るい場所に置くようにします。

セントポーリアは蛍光灯(育生灯、植物灯)など人工光でも花を咲かせることができますので活用しましょう。

【温度】

アザレアやシクラメンなど低温性の鉢花は、日照の当たる日中は 18~20°Cくらいに上昇しても、夕方から夜間は 10°C前後まで気温の下がる場所が理想的です。ガーベラやエラティオールベゴニアなどは比較的高温を好み、昼夜とも 15~20°Cの暖かい場所に置くと花付きが良いようです。

【水】

水やりの三原則は、

- 1, 与えるときは鉢底から溢れるくらいタップリ与える。
- 2, 受け皿などにたまつた水は捨てる。
- 3, 次に乾くまで水やりを待つ。

乾き具合は表面を見るより重さを確かめる方が確かです。乾いたときの鉢の重さを覚えておき、鉢を持ち上げてみて感覚で乾き具合を確認するのが良いでしょう。

【肥料】

越冬中の鉢は冬期間肥料を控えますが、開花を続けていたり生育している鉢は液肥を薄くして施し続けます。濃度が高いと花付きが悪くなるものもありますので注意しましょう。

【病虫害】

入室前に防除を済ませてあっても、オンシツコナジラミやカイガラムシの発生は油断できません。また、株元に水分が滞ったり花弁に水が掛かるとカビ病や腐敗病が発生してしまいます。早期に発見して防除することと、鉢周りの環境をカラッと清潔にすることが重要です。

【吊り鉢の管理】

部屋の高い位置に吊って育てる吊り鉢は、床近くの置き場所に比べ温度が高く空気湿度は極端に低い状態になります。普通の水やりでは十分な給水が出来ないので、数日おきに台所か風呂場でたっぷり水を与えるようにし、茎葉部分にはこまめに霧吹きをして湿度を補いましょう。

◆ Q & A ◆

Q

昨年の暮に素敵なリーガスベゴニアを買ってきましたが、花やつぼみがポロポロ落ちてしまします。なぜでしょうか。当面の育て方と、その後の管理法を教えてください。(北区、Nさん)

A

エラティオールベゴニア(別名リーガスベゴニア)は温度や湿度、日光などの環境条件が急に変わると花やつぼみが落ちやすい植物です。購入した鉢花は、なるべくそれまで並べられていた環境と近い場所に置きたいところですが、そう簡単なことではありません。落ちてしまった花はあきらめ、日当たりが良く、湿度があり、夜間の温度が 15°C以下にならない場所で、今度は環境を変えないよう注意して育て続けましょう。株が環境に慣れると、またつぼみが出て花を咲かせます。一度置き場所を決めたら指定席をかえないことです。

花が終わって春からの管理法としては、リーガスベゴニアは元々短日植物で、日長時間が 14 時間より長くなると花が咲かなくなります。市販の鉢花が一年中出回っているのは、遮光などの技術を用いて日長を調節しているからで、家庭で育てている場合は 5 月末ごろからどうしても花は少なくなります。そこで、この時期になつたらいって花はあきらめ、植えかえをして戸外に出し、徒長した枝を切り戻すなどして、株の再生を図りましょう。日光にも良く当てますが、7~8 月だけは風通しの良い明るい日陰に移して、できるだけ涼しく夏越しさせます。肥料は 5 月の植えかえ時に用土に緩効性化成肥料を混ぜておき、様子を見ながら液肥で追肥します。こうして株を充実させれば、短日下の 11 月頃から再び花が咲きだします。

1月～2月上旬の催しのお知らせ

豊平公園緑のセンター 豊平区豊平5条13丁目 TEL 811-6568

内容	日	時間	申込開始日	費用・備考
園芸教室				
シンビジュムの育て方	1/16(水)	13:30～	1/11(金)	無料
展示会				
アザレア展	2/19(火)～3/2(日)			
クラフト講習会				
アレンジ押し花講習会「ギフトボックス」	1/17(木)	10:00～	1/11(金)	1,500円
ガーデニング基礎講座（全6回のシリーズ講座）				
園芸植物の分類、学名、植物の選択など	1/13(日)			
土と肥料の基礎知識	1/20(日)			
病気と害虫、農薬等の正しい使い方	1/27(日)	13:30～	受付中	全6回で 300円
草本類の開花生理、灌水、植え替えの基礎など	2/3(日)			
繁殖・育種の基礎知識	2/10(日)			
樹木の生理、剪定の理論など	2/17(日)			

百合が原緑のセンター 北区百合が原公園210 TEL 772-3511 <http://www.sapporo-park.or.jp/yuri/>

講習会 内容	日	時間	申込開始	費用・備考
洋ラン栽培講習	1/19(土)	10:00～	1/11(金)	200円
ランをカジュアルに楽しむ	1/25(金)	〃	1/11(金)	500円+材料費
展示会				
初春 洋ラン展	1/29(火)～2/11(月祝)		入館料 130円	
アザレア展	2/13(水)～3/2(日)		〃	

その他のイベント

内容	日	会場	お問合せ
巨大イトウのエサやり体験	2/9(土)	豊平川さけ科学館	豊平川さけ科学館 582-7555
ふゆのモエレでカラフルキャンドルを作ろう!	1/19(土)～20(日)	モエレ沼公園	モエレ沼公園 790-1231
モエレ公園通りスノーフェスティバル 2008	1/26(土)～27(日)		
SNOWSCAPE MOERE Ⅱ	1/30(水)～2/3(日)		
子りす工房「森のカレンダー」	1/10(木)、20(日)	西岡公園	西岡公園 582-0050
月寒川流域の遺跡からみた札幌の昔	1/11(金)		
ふしぎロウソクを作ろう! 西岡公園にスノーキャンドルを灯そう	1/19(土)		
かんじきウォーク	2/2(土)		
夕暮れの動物を探しに行こう	2/3(日)		